

# 9月議会定例会のあらまし

平成21年9月内子町議会定例会は、9月16日～25日まで10日間の会期で開かれました。32の町長提出案件（報告事項8件、決算の認定11件、条例の改正4件、補正予算6件、その他3件）と2の議員提出案件が審議され、原案どおり可決されました。

## 行政報告

内子町長 稲本 隆壽たかとし

### 民主党政権誕生に伴う町政運営

8月30日の衆議院議員総選挙で民主党が勝利しました。わたしなりに分析すると①中央と地方の格差問題②度々の党首交替による不信感の拡大③世界的不況の中での閉塞感などに国民の不満が蓄積したのではないかと思います。その結果、愛媛県から自民党、民主党各3人の代表が国会へ送られました。課題は山積みですが、国民の幸せのために頑張ってほしいと願っています。

一方、「子ども手当」「公立高校授業料の無償化」「月額7万円の最低補償年金」「高速道路無料化」などの政策が挙げられていますが、必要な負担や痛みに言及されていないことが問題です。消費税議論を避け、歳出削減や埋蔵金で財源は賄えるのでしょうか。

設間を光ケーブルで結ぼうと「地域イントラネット基盤整備事業」に取り組んでいます。またNTT大瀬局管内で、昨年度の国の2次補正予算「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用して公設民営によるADSL事業に取り組み、サービス開始に向けて事業を行っています。

22年度に整備予定だったNTT立川局管内は、大瀬局と同じ方式で「地域イントラネット事業」の光ケーブルを使い、今年度の国の補正予算（公共投資臨時交付金）を活用した事業を申請中です。重松地区などは、衛星ブロードバンドでの整備を国に要望しています。

携帯電話の不感地域の解消は、上川地区が3月から、上田渡および日野川地区が5月から、民間企業によるサービスが開始されています。臼杵・河内・程内・川登地区は、今年度の「地域イントラネット事業」による光ケーブルを民間企業に開放して、サービス提供の協議を進めています。

### 町内産材を利用した木造住宅の建築促進

このたび「内子町産材利用木造住宅の建築促進事業補助金交付要綱」を制定することとしました。

この要綱は、町内に居住するため一戸建て木造住宅を建築または個人が購入する際に、補助金を交

民主党は2009年度補正事業などの見直しを掲げています。内子町でも7月の臨時議会までに補正対応しましたが、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」対象事業である学校施設の耐震診断やパソコン整備、消防防災事業、自治会館の施設整備、町道舗装事業などの約7億4千万円（交付金約5億3千万円）、公共投資事業分を含めると12億7千5百万円（交付金9億4千万円余り）への影響が心配されます。すでに事業に着手しているものもあり、今後の政治動向を注目しなければなりません。事業に支障が出ないように、地方の実状を踏まえた対応をお願いします。県や町村会と連携しながら行動していきます。

地方分権の問題では、大局的見地から財政面の裏付けを行うとともに、国土保全に関する基盤整備だけはやり遂げる責任があるのではないかと思えます。

エネルギー資源や食糧の大半を

付することを定めたものです。床面積が66㎡以上で、内子町景観まちづくり条例の景観形成基準に適合することなどを条件に、町内産材の使用率が70%以上で、町内の製材所・大工・工務店などを利用して在来軸組工法により建築される木造日本瓦葺き住宅に対して、一戸当たり最高70万円の補助金を支給します。これにより、主要産業である木材産業の活性化と景観まちづくりの推進に取り組みしていきます。

### せん森ネイチャーディスプレイン2009

小田深山などの自然を活用し、町民と協働で新しい取り組みを進める「内子町山並保全・活用計画」事業の一環として10月4日、「せん森ネイチャーディスプレイン2009

外国に依存している状況の中で、1億2千万人の国民がどうやって生きていくのでしょうか。国家としての成長戦略や経済全体の拡大方策なくして、この国が生きていく方向を見つけないことは難しいでしょう。また、日本が平和で安定した国家として存続していくためにどのような姿を描こうとしているのか、いまだ見えてきません。しばらくは状況を見ながら対応せざるを得ないと考えています。

### 地域情報通信施設の取り組み

内子町では情報格差を改善するため、数年前から町民参加の懇談会を開き、国・県などの補助制度の活用や民間企業への要望活動を行いながら検討してきました。

内子町の情報化対策には①辺地共聴組合への地上デジタル放送対策②ブロードバンドゼロ地域の解消③大瀬・小田地区に民放2局の受信環境整備④携帯電話不感地域の解消などが考えられます。

ン2009」を開催します。

小田深山溪谷の「廻岩キャンプ場」を主会場に、溪流の自由散策、地元の方々が作る「山なみ弁当」の昼食と森の風コンサート、(株)日本交通公社の寺崎竜雄さんによる講演などが行われます。

山や自然を活用した取り組みとして、ガイド付き自然散策「エコーリズム」について学びたいと考えています。また会の終了後は、町民が「やまなみガイド」となって自然散策を行うオプショナルツアーも計画しています。

### 各種大会での町民の活躍

6月28日、「交通安全子ども自転車愛媛県大会」が松前公園体育館で開かれ、団体の部で五十崎小学校自転車クラブが優勝、内子小学校自転車クラブが準優勝に輝きました。

同大会は、自転車競技を通じて児童が自転車に乗るときのマナーや運転技能を高め、交通安全に対する意識向上を図ることを目的として、毎年行われています。今年も県内から11校13チームが参加。五十崎小自転車クラブは2年ぶり3回目の優勝で、8月6日に東京ビックサイトで開かれた全国大会に出場しました。また県大会個人の部でも、ベスト4を独占しました。

剣道では、中野鉄也さんと大竹

国は2011年（平成23年）7月24日午前11時をもってアナログ放送を終了し、デジタル放送に移行する予定です。

町内では、県内の放送事業者が高森山（内子21）に中継局を建設してデジタル放送サービスを行っています。しかし、大瀬・小田地区を対象とするうつむき山（立石）の中継局は、NHK・南海・テレビ愛媛のデジタル放送を受信することしかできません。そこで、昨年度の「安心実現のための緊急総合対策・交付金」と町の補助金を活用して、あいテレビ・愛媛朝日テレビの中継局を整備し、9月1日から本格的なサービス提供を始めています。

しかし、中継局は整備されたものの、町内には共同受信している辺地共聴組合が50組合あります。どここの場所でもデジタル放送を受信できる環境を整えることが、国や放送事業者の責務となっています。

内子町では国などと連携し、辺地共聴組合や高齢者世帯などを対象とした説明会を開きながら、デジタル放送受信のための手続きを支援し、事業実施に向けて取り組んでいるところです。

大瀬・和田・重松地区などから要望があるブロードバンドゼロ地域の解消に向けては、まず役場、学校、自治センターなどの公共施設

優美さん（ともに小田高3年）が、8月3～5日に大阪市で開かれた「21年度全国高等学校総合体育大会」に愛媛県代表として出場。二人は、6月6～7日に愛媛県武道館で開かれた「第63回愛媛県高等学校総合体育大会」の剣道個人戦でそれぞれ準優勝していました。

空手では水野恭輔さん（内子中3年）・泰輔さん（内子中3年）・谷岡祐亮さん（内子中3年）が、8月29～30日に北九州市で開かれた「第17回全国中学校空手道選手権大会」に出場。個人戦で水野恭輔さんと谷岡さんがベスト8の成績を残しました。3人は、5月24日に愛媛県武道館で開かれた同大会愛媛県予選大会の組手の部団体戦で優勝。また70人が出場した個人戦でも、水野恭輔さんが優勝、谷岡さんが準優勝を果たしています。

成年ゴルフでは山根一善さん（鳥越）が、9月16～18日にかけて静岡県浜松市で開かれている「第9回日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会」へ出場中です。

このように内子町から全国大会へ町民の皆さんが出場し、いろいろな種目で活躍していることを大変うれしく感じています。これからも各種スポーツや大会を通じて、健康で明るいまちづくりに寄与していただくことを願っています。



小田深山に町内外から約250人が集まり開かれた